

西馬塚古墳

西馬塚古墳は住宅街にある方墳だ。管理している宮内庁は、これを応神天皇陵の陪塚であると伝えている。しかし、距離がずっと近い墓山古墳の方に関係があるのではないかという研究者もいる。

西馬塚の名前は、この古墳が天皇の馬のために造られたのではないかと考えられていたことに由来する。その大きさから、それは事実ではないと考える専門家もいる。宮内庁が敬意を払って墓の内部を開いていないため、埋葬施設を開けて調査することはできない。

どうやら元々古墳の敷地であった一部分に住宅が建てられているようだ。周辺の発掘調査から、当時の高さは 9.4 メートル、面積は 0.2 ヘクタールであったと推測される。